



大津町
議会だより

第42号

平成19年11月1日

Ōtsu

ガイドライン 9月定例議会

定例会・決算	2・3
決算委員会レポート	4～6
年金、道路、政府に意見書	
	8
「町政を問う」一般質問（8人）	
	9～16
委員会研修報告	
	17

発行/大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会
〒869-1233
熊本県菊池郡大津町大字大津1233
☎(096)293-3111

ムクゲ

9月定例会

若草児童学園に指定管理者
緑ヶ丘保育園・美咲野に移転

9月定例会を11日から25日までの15日間の会期で開きました。今議会は、19年度補正予算、条例改正・制定、陳情・請願などを審査し、18年度各会計決算の認定審査を行いました。採決の結果、陳情2件を継続審査として、議案を全員賛成、一部を多数賛成で可決認定しました。

一般質問は、8議員が行いました。



若草児童学園

条例の制定で「若草児童学園条例」は、賛成多数で可決。来年度から学園運営は指定管理者（説明参照）に移行する予定です。

一般会計補正予算関連で、緑ヶ丘保育園の移転にともなう補助金が1億1024万円。同保育園は、現在のミルクロード沿いから美咲野団地内に移転、新築の予定です。

老人福祉分野で九電あと地に小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護施設の新設に4000万円の補助金。

住宅用太陽光発電システム設置に、30万円を限度として補助することとなりました。

決算18年度各会計決算審査は、3常任委員会で審査を行いました。

「年金制度の改善を求める意見書」と「道路整備の促進及び財源の確保に関する意見書」を、賛成多数で採択しました。（意見書文は8ページ）

同意しました

(敬称略)

教育委員会委員と固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、お二人の方の再任に同意しました。

教育委員会委員

○氏名 河津 洋子（63歳）

住所 大津二八七-八

固定資産評価審査委員会委員

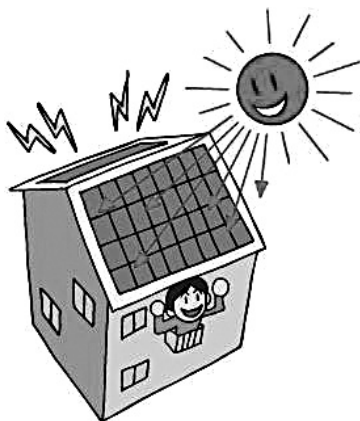
○氏名 西岡 幸吉（79歳）

住所 大津一四二-一

指定管理者制度とは？

地方公共団体（町）の「公の施設」を株式会社をはじめとした民間法人などに管理させる制度。町長は一定の条件をつけて管理希望者を公募し、管理者を指定します。指定にあたっては議会の議決が必要です。

ソーラー発電に補助します
(10月より)

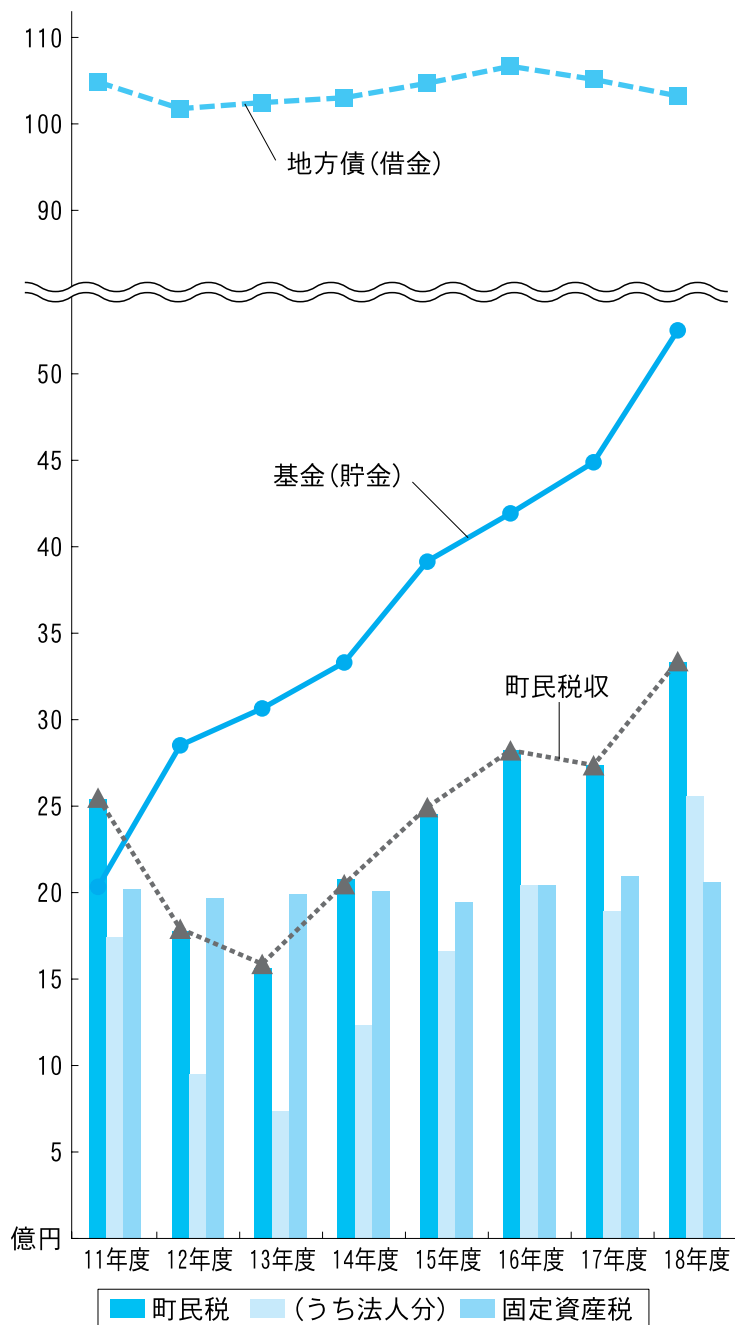


大津町の財政状況（18年度決算）

地方債（借金）102億円・基金（貯金）53億円（単位万円）

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
地方債残高	1,073,989	1,037,482	1,027,140	1,029,211	1,057,638	1,066,734	1,051,961	1,022,725
基金積立金	194,346	274,868	300,771	359,695	380,340	420,135	454,828	534,464

18年度決算



18年度各会計決算の認定審査を現地調査も含めて、各常任委員会で審査しました。

18年度一般会計で、町税収入は56億円を超過過去最高となり、2年連続で普通交付税が配分されない不交付団体となりました（県内では大津町だけ）。

歳出では、ハコ物建設の凍結や歳出削減の努力などにより町の貯金にあたる基金残高も53億円になり最高額です。一方、借金にあたる地方債は102億円で3億円弱の減少となっています。

その他、国民健康保険

特別会計など各会計の決算を審査し、全議案を認定することを可決しました。

決算審査の中で、翌年度の予算編成の改善につながるための指摘事項などの意見が出されました（主なものを5〜7ページに掲載しています）。

税収56億円（過去最高）
貯金53億円、借入金102億円



総務常任委員会



文教厚生常任委員会



経済建設常任委員会

証 検 を み

年度決算

総 務

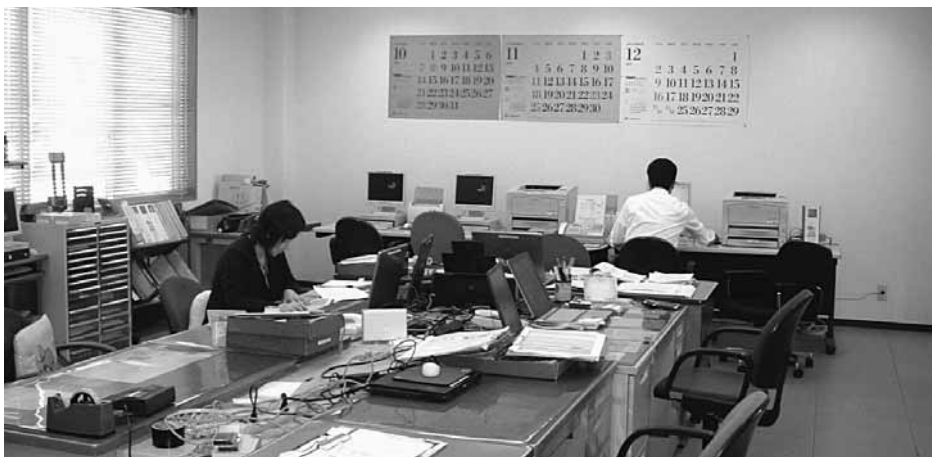


南部工業団地（右手前が㈱イズミ車体製作所）

南部工業団地造成事業

南部工業団地が完売し、㈱イズミ車体製作所・㈱マ
ルマエ・㈱アムド・㈱ネクストラインの4社が進出し
た。
周辺道路は防犯灯も完成し地域住民の散歩コースに
もなっている。

3 億
4,500万円



企画政策課 情報計画係

総合行政システム事業

コンピュータを中心にした総合行
政システムが急ピッチで進むなか、総
合行政システム及びパソコン等の適正
な運用・維持管理、文書管理システム
の導入を行った。

7,100万円

消火栓3基新設
防火水槽2基新設
小型動力ポンプ1台更新
積載車2台更新
防災無線子局1台新設
簡易子局1局新設

地域消防の強化が求められる中、
年度は左記の事業を行った。

消防施設整備事業

3,100万円



消防ポンプ車

経済建設

町の取組

平成 18



肥後大津駅南

昭和55年より平成19年1月の登記完了まで延べ27年間をかけて実施。
15 haの土地に約19億4300万円で都市基盤の整備を行った。健全な市街地形成と良好な住宅の供給を目的とした当地区は、現在、大型店舗並びに各種店舗、ホテル、アパート等の建築が進み、町の市街地を形成する中心的役割を担っている。地区内のかぶとむし公園は、町内全域から若い親子の公園デビューの場ともなっている。

都市機能を完備した町か
土地区画整理完了



整備した町地区の水路

農村整備事業で町地区の用排水路416mを2877万円で整備。環境ブロックを取り入れメダカが生息し、ホタルの餌になる川二ナが住みついている。階段があり子ども遊び場にもなっている。
今後、環境に配慮した水路整備をしてもらいたい。

水路は環境に配慮した整備を図れ
水を守り親しむ

つつじの苗を毎年、3千株程度自治会などの団体に無料で配布し、道路沿線、公園等の公共施設に植栽。日本一のつつじの里にふさわしいつつじの花でいっぱい町にする（目標50万本）。

つつじの花は日本一か

日本一のつつじの里

他の花苗についても町が費用の半分を負担、団体が残り半分を負担して、春と秋に5千株ずつ苗を配布し植栽する。やすらぎとおもてなしの場としてのイメージアップを図る。

大津町が管理している山林（町有林486ha、広葉樹100ha、環境の森90ha）を下刈・間伐・枝打等適正な管理を行う。地球温暖化が叫ばれる中で森林の果たす役割は重要である。

森林公園を中心に森林浴や作業体験の場を提供し、レクリエーション、保養の場として、多くの人に来てもらうため、より一層の適切な維持管理に努める。

伐採後の植林は万全か

森林整備



下刈 高尾野森林公園

平成18年度決算審査

文教厚生

健康福祉課 老人ホーム関係

Q 今後、一人一部屋の推進を図るのか。

A 昨年の末頃から入所者が減少しており、現在39人であり、現在の施設のままで一人一部屋の推進が可能と思われる。

教育委員会事務局 給食センター関係

Q 地産地消について消費する給食センターとしてはどの様に考えているか。

A 郷土料理や熊本独特の料理の献立に活用し、

1カ月に7日程度使っている。



学校給食センター現地調査

教育委員会事務局 生涯学習室関係

Q 梅の造花伝統工芸の保存活動は、町が主体で行うべきではないか。

A 役場内部でも内容を検討し、保存会や商工会とも充分検討し、相談しながら進めていきたい。



国民健康保険

Q 人間ドックの受診者は毎年増えているのか。

A 平成17年度が690人で平成18年度が747人と増加している。

介護保険

Q 食の自立支援事業を行っているが状況は。

A 社会福祉協議会が行っており、社協職員やボランティアが配食している。配食時に相談や安否確認等も行っている。

紙の出来る木を栽培

町の伝統工芸 梅の造花



蓮脱木（つうだつぼく）の栽培

梅の造花の花びらに使用する蓮脱紙は特殊なもので、台湾から購入しているが仕入れがわずかしくなり、3年前からスポーツの森の一角で、この紙の原木である蓮脱木の栽培に町と梅の花保存会が取り組んでいる。町の伝統工芸として未長く受け継がれる様に、安価で安心な材料の確保を期待している。

地域ふれあい施設

桜丘団地集会所新設



新設の桜丘団地集会所

地域住民の積立金と町の地域生涯学習施設等補助金により、桜丘団地自治集会所が完成し、地域の活力ある行事運営が出来る様になった。
長年の住民の希望で、用地購入から始まり、木造・平屋建・約176㎡で、エアコン一式他、備品も揃っている。総事業費約2060万円、うち町補助金750万円。

補正予算・条例等を審議

文教厚生



総合体育館北側駐車場舗装予定地

一般会計

Q 総合体育館北側の舗装は、全体面積のどれ位になるのか。

A 北側駐車場の台数は全部で230台程度が可能で、今回は約1/3程度になる。

Q 学校の遊具の管理・点検はどうしているのか。

条例改正

「若草児童学園条例」
Q 若草児童学園の指定管理後のサービスの向上を目指すとはどのようなことか。

A 現在の学園の良い部分の仕様書の明示・個別の支援計画などの引継書の作成・移行後の第三者評価の実施など、サービスが低下することなく、また民間のノウハウを活かしたサービスの導入などにより、園児たちの福祉の向上のための管理運営ができるものと考えている。

経済建設

一般会計

Q 耕作調整とはどういうことか。農家を回ってお願いするののか。

A 遊休農地の解消に向け農業委員や集落営農推進員が調査し耕作の推進

活動を行うものだ。

Q 新規就農予定の人は将来農業をされるのか。

A 野菜農家を目指すとのこと。

Q 太陽光発電の助成は23年迄の4年間で普及率3%は5%〜10%と引き上げていくべきだ。

A 年数は検討する。

Q リサイクルすれば、経費削減になったのか。

A 再生資源の集団回収をすれば450万円の支出で5千万円の美化センター処理費が削減された。

Q 竜門ダムの水は何人の人が利用しているのか。

条例改正

A 安全点検については専門の業者に委託している。

「菊池環境保全組合規約の一部変更」

A 旧13市町村の全体で4678人で本町では212人です。

Q 負担割合が変更前と後ではどうなったか。

A 事業系ゴミ搬入の多い市町は減額割合が高く本町は287万円減である。

総務

防災行政無線調査設計 業務委託

234万円



防災行政無線設備

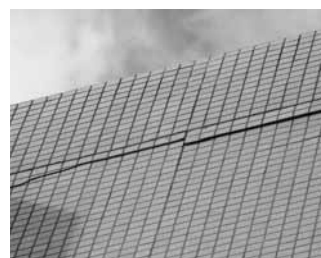
Q どうしてデジタル化するのか。

A 現在の機器が老朽化し、更にアナログに比べてデジタルは電波の幅が狭く効率的に使用できるため。

Q 今回の調査は何をするのか。

A 電波の受信感度を調べる。

庁舎東側外壁修理



外壁タイル破損

Q 修理箇所はどこか。

A 東側増築部分のタイル壁を修理する。

115万円

政府（内閣総理大臣他）に意見書を提出

年金制度改善を求める意見書

賛成13人 反対2人

1. できるだけ早く、全額国庫負担の最低保障年金制度を創設し、無年金者や低額の年金者を無くして、すべての国民が安心して暮らせる年金制度を確立すること。
2. 基礎年金の国庫負担割合を直ちに3分の1から2分の1に増額し、全額国庫負担をめざすこと。
3. 年金財政の巨額な積立金を計画的に活用し、保険料・掛金の引き上げ、支給額の切り下げの年金法の実施を中止し、物価スライドによる年金額の切り下げを元に戻すこと。
4. 年金受給者の生活を破壊する高齢者控除の廃止と公的年金等控除の縮小をやめて元にもどすこと。



年金問題は切実

道路整備の促進及び財源の確保に関する意見書

賛成13人 反対2人

- 一 国民が期待する道路整備を計画的かつ着実に進めるため、受益者負担という道路特定財源制度の趣旨に反することなく、必要な財源を確保すること。
- 一 今後の具体的な道路整備の姿を示した中期計画を作成するにあたっては、地域間格差への対応、安全・安心の確保、豊かな生活環境の創造等の観点から、国民の道路整備に対するニーズを幅広く汲み



道路の整備

- 一 取るとともに、国民の期待に応えるべく、道路整備を計画的かつ着実に推進すること。
- 一 我が国の成長力や地域経済の強化を図るため、国土の根本的な社会資本である高速自動車道については、必要な道路を着実に整備するとともに、料金の引き下げなどの既存ネットワークの効率的活用・機能強化のための措置を講じ、利用者の利便性向上に努めること。
- 一 今後、高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、道路網の安全性及び耐久性が確保されるよう、適時適切な修繕等による効率的な道路ストック管理を行うこと。

反対
永田和彦議員
道路を使い車を動かせば関連した被害も生まれる。国会では高齢者医療費負担増・障害者自立支援法の見直し、年金も問題になっている。

反対
荒木俊彦議員
熊本・大分間の高規格道路計画は、二重の峠の下にトンネルを掘るだけで8億円もかかる。高度経済成長のときのようにはいかない。

道路はつくるが年金はもらえないではない。きちんとした社会保障制度を確立して、そして必要な道路は、きちんと精査してつくるべきである。

都市と地方の格差を埋めるためにも国が地方自治体にちゃんと財源を渡し、自治体の判断で使いみちを決めれば、無駄遣いにならない。

討論

上記・道路財源について

賛成
石原大成議員
大津町において、国道57号線の4車線化早期完成や都市計画道路など道路整備の必要性は高い。また、既存道路の適正な維持管理のためにも道路整備の財源確保は重要である。

国に対して、地方の実情に基づき、県内市町村が丸となって要望することが重要である。

賛成
大田黒英生議員
大津町にはいろんな工場、進出企業があるが、決して町の道路事情は良いとはいえない。

現在、県道瀬田竜田線は、大林地区において、契約はできているが、県の財政が厳しいため、いつ着工できるか見通しがつかない状態である。このような町の事情があるので、意見書に賛成する。



臨時職員は166名

町民の所得状況（18年度）

階 層	人数	割合
年収100万円以下	1,573	14%
100万円～200万円	3,645	30%
200万円～300万円	2,471	21%
300万円～400万円	1,406	12%
400万円超	2,725	23%

②景気がよくなってきた
相談件数は増えている。
は県平均より少ないが、
ある。生活保護世帯比率
い状況にあるのは確かだ
①町民の生活が大変厳し

家人町長

1日8時間働いて年収が
134万円にしかならな
い。
臨時労働のあり方から
しても賃金があまりにも
安すぎる。町全体の賃金
を引き上げるためにも、
せめて時給1000円に
なるように賃金引上げが
必要ではないか。

7月の参議院選挙の最
大の争点は、貧困のス
トップ、格差是正であっ
た。都市と地方の格差、
所得の格差率で熊本は全
国で4番目である。
①町の生活保護世帯は、
毎年100世帯を超え、
就学援助世帯は220人、



荒木 俊彦議員

町長／待遇を見直す

貧困ストップ・格差是正・
臨時賃金引上げを

町政を問う

一般質問
8議員

国保税は値下げできる

町長／財政は厳しい

来年4月から、75歳以
上の方は新たな健康保険
料負担、平均で月額62
00円以上である。

国保会計の昨年度の黒
字は1億4000万円も
ある。国保税は値下げで
きる。

スポ森、利用者の 立場で改善を

町長／要望聞き検討
する

なかで、役場への雇用申
込みの人材が減少してい
るのは確かである。
頑張っている人、今後も優秀な
人材を確保するためにも
雇用期間の長期化を含め、
待遇面などの根本的な見
直しを検討する。

①スポーツの森の駐車場
不足解消のため、西側正
面左スペースを駐車場に
活用するべきではないか。
②北側の駐車場から体育
館入口まで雨ざらしであ
る。使う人の立場から雨
よけの改善が必要ではな
いか。

家人町長

①正面のスペースは、大
きな大会などのとき活用

体育館北側入口
雨の日は不便

しているが、今後はさら
に利用をすすめたい。
②北側駐車場は、今回70
台分くらい舗装する予定
だが、雨の日は、大変不
便な目にあっておられる
のは確かである。
入口まで屋根を整備す
ると障害者用スロープを
含めて約1200万円ほ
どかかる。今後、利用者
の要望を聞きながら検討
する。

今年度8月までの保険
給付の支出は、前年度比
20%近い増額となってい
る。財政運営は厳しい。
後期高齢者医療制度によ
り、どの程度国保財政に
影響するか、国の政・省
令等が公布されないと分
からない状況である。

家人町長

河川の調査と 護岸の対策を問う

町長／護岸対策に根固め



新開 則明議員

文化財関連をどう生かしていくか検討する。今後とも土地改良区受益農家の皆さんと協議し、防塵対策を行っていきたい。



起伏式ゲート（塘町の人工堰）

起伏式ゲート（人工の堰）を放流する場合、上流・下流への影響は十分考慮されているのか。石積みや擁壁等の根石・床土の露出や史跡の点検は出来ているのか。水の流れに差し掛かる樹木や竹・草の管理と責任及び支流への水取入れ口の防塵対策はどうなっているのか。

パークゴルフへの 対応を問う

町長／健康づくりに支援の検討



健康づくり、パークゴルフ
（大津会員）

パークゴルフへの住民の関心が高まっているが、パークゴルフ場を開設する考えはないか。子どもから高齢者まで幅広く、体力増進とコミュニケーションの場として有効なスポーツとして、医療費の軽減にもつながるのではないか。既存の公園活用や山林・遊休地を活用したコース作りは考えられないか。

家人町長

利用者の状況や周辺の状況を含めて、慎重に検討していく。健康のためにパークゴルフの推進をやっていきながら、パー

防災無線について問う

町長／難聴地域の解消を

防災無線放送として、どの範囲まで使用し、誰が決定していくのか。防災行政無線もデジタル化になってきているが、今後、町としてどの様に対応していくのか。難聴地区や難聴者に対する調査は出来ているのか。戸別受信機は自己負担すれば取り付け出来るのか。

家人町長

運用規定に基づいて行い、内容等も3分以内で総務課長が審査し決定している。今後はデジタル化を推進していきたい。難聴地域は平成16年度に調査し、28カ所を把握し、解消を図っている。個別受信機は今後、住民の方の要望があれば、検討していきたい。



防災無線放送

クゴルフの仲間たちの要望望関係を聞き支援の方法を検討していく。今のところパークゴルフ場をつくることは考えていない

が民間で計画される様な事があれば支援なり出来れば検討していきたい。



永田 和彦議員

水道料金について

町長／年次計画をたて、経費節減に努める

内部留保資金と基金に対する企業団の条例や運用ルールを明確に示さないと、大津菊陽町民が支払った多額の水道料金残高に対する保護がでない

いし無駄遣いに通じる。多額の内部留保資金による高金利借金に対する繰上償還などの取り組みはできているか、また企業団ホームページの会計予算報告書においては非常にいい運営をしているとあるが、企業団経営と運営経費の見直しを厳しくし町民負担を軽くする努力をされているか、また今の水道料金が妥当な値段であるという根拠を、町長（企業長）に聞きたい。

家人町長

水道は水源や調整池配水管など数多くの施設



大津・菊陽水道企業団

を有しており資産評価額は約91億程度ある。内部留保資金関係等については監査委員の方から指摘を受けているので資金管理のやり方については今後十分検討をさせていたきたい。施設整備関連等についても大きな課題が残っている状況だが工事関係等については10カ年計画の中で事業費を上げながら毎年計画をきちんとやり推進していく。昨年の料金審議会での答申を踏まえて最大限の経費節減に努め、安全かつ安定した給水に努力していきたい。

ごみ処理について

町長／資源循環へのご協力を

地球環境を守るために分別の徹底やリサイクルをやっている。ところが最近になって容器包装リサイクル法に基づく収集を完全実施したために、処理費用が増大して自治体財政を圧迫する結果となった。リサイクルすると逆に資源消費量が増えるといった事実が判明してきた。

①各家庭において分別のごみ出しルールを守っているのに処理料金が安く

家人町長

ならないのは、時代に合わない処理システムだからではないか。

②家電リサイクル料を払い引き取ってもらった家電を海外に売る悪質な二重取りも出ているが、需要がある海外へ売ればゴミ処理料金の足しになる事実を直視するべきだ。

とプラスチック関連等が混ざったごみなど投げ込まれており、それを焼却するのは大変費用がかかる厳しい状況にある。子ども会や老人会関係等にお願ひし資源物回収の瓶とかの金額を上げながら資源循環型社会への協力をお願いしている。

②家電リサイクル法を守るのは当然であるが、学識経験者を含めた法案検討委員会に意見を求め社会変化に対応するため5年後に見直す条文がある法改正に期待したい。



菊池環境保全組合



月尾純一郎議員

高尾野森林公園を 活用せよ

町長／多くの町民の活用のため
に整備する

高尾野森林公園は一部整備されているものの、そこに至る道路が狭く、全体的に見ても、ほとんどが手付かずの状態。多くの町民はその存在すら知らない。利用されていない。

①道路等の整備を進め、多くの町民が利用しやすい公園にすべきではないか。

②面積が広大である。針葉樹のゾーン、広葉樹のゾーン、竹林のゾーンなど、ゾーンを分けて整備する考えはないか。

家入町長

平成12年度から森林空間総合整備事業の補助を受けて、27・4ヘクタールの整備をし、平成15年に完成した。目的は、良好な自然環境を保全しながら、適度な活用を進め



多くの町民の利用が待たれる
高尾野森林公園

ていく。即ち多くの町民に活用していただきたい。進入道路は北の方は新小屋からの入口と西側からの入口の2ヶ所があり。現在、案内板が目立

たずPR不足になっている。地理的には、大津町のなかでも、ちよつと歩いて行ける大変素晴らしいところであり、全ての町民の皆さんが、この森林

公園の存在を知っていたいて、来ていただき、歩いて回れるようなものにしていかなくてはいい

この公園は整備事業の中で、森林浴の森、針葉樹の森、椎茸の森、広葉樹の森といった4つのゾーンを設け、今後多くの皆さんに活用していただけるよう整備する。

下水道事業を急げ！

町長／水環境保全のため取組を急ぐ

下水道整備は、近隣の市町では100%に近いという。自然環境の保全という観点から、大津町は全てに優先して下水道整備事業を進めなければ

ならないと思う。

①大津町の下水道整備の状況はどうか。

②合併処理浄化槽の今後における取り組みを問う。

家入町長

大津町では、昭和56年度から公共下水道事業、

平成7年度から合併浄化槽設置事業、平成13年度から農業集落排水事業に

健康福祉センターを 早期建設せよ

町長／健康福祉センターは
必要な施設

少子高齢化が進み、高齢者をはじめとする医療費増大の問題。メタボリック症候群など成人病の問題。食育など子どもたちの健康に関する問題等々、健康福祉センター

の果たす役割は大きい。

①建設計画が棚上げになっているが、健康福祉センター建設の予定はないのか。

②健康福祉に対する取り組みを問う。



家入町長

取り組んでいる。瀬田・大林・吹田・森地区は多額の費用が必要であり、供用開始は平成30年頃になる見込。公共下水道や農業集落排水事業区域以外の真木・古城・米山・護東地区などは、環境に恵まれた地域である。合併浄化槽設置事業の補助金を増額することにより、早急に設置を進めることは、水環境を保全する上で必要なことである。どの程度増額するかは、下水道事業における負担金とも比較し、受益者負担の観点から今後十分検討する。

健康福祉センターは、これからの少子高齢化の中で、あるいは町民の皆さんの健康を推進していくために、是非必要な施設。大津町振興総合計画また、まちづくり交付金事業関連等の後期の事業で取り入れていきたい。



坂本 典光議員

大津町は順調に発展している。平成19年度も大津町は普通交付税不交付団体になった。
全国に不交付団体は188しかない。
人口は近日中に3万人に達する見込みである。

町長の思いを聞く (大津町発展の件)

町長／更に元気な大津町を創る

①町発展に対する町長の思いを聞きたい。
②恵まれない人にも町発展の恩恵があるように心掛けていただきたい。

家人町長

①昭和31年、大津、陣内、瀬田、平真城、護川、錦野の1町5村が合併して今日の大津町ができた。

新しい大津町になってから、それぞれの先輩たちが汗と知恵を出して今日の繁栄がある。非常に感謝している。

町の財力を示す財政力指数は、昨年度が1・004、本年度は1・101であり、力がついているのは確かである。

自動車産業の本田技研工業㈱や、半導体関連の㈱ルネサス九州、HONY A㈱、テラデザイン㈱、東京エレクトロン九州㈱などの企業が元気を付けている。

しかし、民間の景気が常に良いわけではない。気を引き締めて更に元気な大津町を創っていく。強い農業をつくるため、基盤整備や集団営農の支

援も大事である。

商業関係では、大津駅の南側の地域はそれなりの商業集積がなされ住民の利便性が良くなった。

駅より北側で昔からの市街地は宿場町の面影を持つ地域として発展させたい。

職員はじめ、それぞれのまちづくり支援の人材育成に努めたい。

②保育料の値下げ、私立幼稚園の入園料補助の新設、児童手当等の拡大、障害者就労継続サポート事業の新たな独自の取り組みや乳幼児医療費の枠の拡大などに取り組んできた。

更に肥後銀行本町通り出張所跡に計画している地域包括支援センターが来年1月に開設できるよう準備している。



教育委員会で協議すべき (一般質問の対応)

教育長／可能なかぎり事前協議する

議会とちがいが町長は自分一人で意思決定ができる。

一方、教育委員会は5人の委員からなる合議制の組織である。

教育長は自分一人で意思決定できない。

今まで慣例として教育委員会に対する質問は教育長が自らの判断で答弁してきた傾向が強い。

今後は教育長（教育委員会）に対する一般質問は教育委員会で協議し、その結果を教育長が答弁すべきではないか。

宮崎教育長
私もその考え方が正しいと思っている。

現在の状況を説明すると、教育委員会は毎月の定例会と臨時会を開催している。

議会前に教育委員会が開かれた場合は予定している答弁を示し各委員の意見を聞いている。

議会前に委員会を開けなかった場合は教育委員会の方針を参考にして私が議会で答弁している。その後開かれる委員会で承認してもらっている。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律には「教育長は教育委員会の指揮、監督の下、教育委員会の職務権限に属するすべての事務をつかさどる」とされている。

今後、可能なかぎり議会の前に教育委員会を開き一般質問について教育委員の皆さんの意見を取り入れて答弁したい。

その他の質問

行政視察受け入れの件



学校視察をされる教育委員の皆さん

公民館活動の現状を問う

教育長／活動を充実するため普段の
実践活動の支援を強化する



手嶋 靖隆議員

本町における公民館活動と住民参加、自主活動について、どのような考えなのか。年間の社会教育計画を策定し、その拠点となる公民館を活用、実践されているが、その活動について次の点を伺いたい。

①社会教育計画策定にあたり町民参加の審議は。
②教育振興を図るために指導の充実が不可欠であ

るが、地域に居住する有識者の協力をどの程度求めたのか。
③身近にある問題を教材にとりあげるよう配慮は。
④公民館活動の機能を果たすため、設備の充実、職員の適正な配置等の条件整備が重要だが現状の実態は。
⑤活動行事の準備、後始末は参加者自身で行われるか。
⑥年間の講座名と参加者は。

宮崎教育長

①振興総合計画基本計画の、社会教育及び生涯学習部門の計画策定を進める中で、町民の参加の場として生涯学習関係の各委員、団体と、各施設利用者及び参加者の意見を伺いながら審議を行い、計画を策定した。毎年、事業の実施状況や実績などを報告し、次年度に向けて改善や利用者のご意見を聞きながら進めている。

②講座の内容に応じた様々な部門に町内有識者40人程に指導者として支

援いただいている。
③公民館の考える講座と町民が提案される講座や自主グループの活動支援を行っている。
④利用者などの意見や施設管理状況などを確認し、計画的、又、臨時的に予算をたて整備を進めている。
⑤公民館講座など町が募集を行った講座に関しては職員と参加者が協力して各行事等の準備から後始末まで自主的に行っている。

⑥年間60講座程で参加者900名を超えている。



活発な公民館活動

遊休地の有効活用について

町長／公共施設を踏まえて多
目的活用、検討する

若草児童学園跡地については東部地区新興住宅の増加に伴い、人口も増えている。防災上、緊急避難場所として、また、地域住民の健康増進と交流の場として環境を配慮した運動公園の設置を提唱してまいった経緯もあり、一部については区民による除草、整理管理を自主的に行い、グラウンドゴルフ等に利用されている現状を踏まえて、早急に整備を望む。なお、その他の遊休地については処分か、有効活用の見直しされるのか、所見を伺いたい。

家人町長

学園跡地の東北側に法務局移転の計画がある。あと残地の利用については東原地区などの防災上の避難所として、また、地元のグラウンドゴルフ場などとして残すような方法も検討している。

護川小学校跡地については将来どうすべきか地域住民と相談しながら利用を考慮したい。町立幼稚園跡地はまちづくりの

代替用地。青年開発跡地は児童福祉関連を検討したい。

水源町と森の住宅地は、売却を検討、瀬田幼稚園の跡地は関係者と十分相談し売買か利用か検討する。区画整理内残地は売却の予定。

最終処分場跡地は一部西側については災害時等における廃棄物の置き場として確保したい。



有効活用が待たれる若草児童学園跡地

妊婦無料健診の 拡大を

町長／5回程度で検討したい

妊婦健診は、妊娠中の母胎と胎児の健康を確保したり、安全な妊娠・出産を目指して実施するものである。無料健診は前期と後期で1回ずつで2回ある。健診は10回から15回で出産は病気ではないので基本的には健康保険がきかない。初診から出産まで合計すると平均で6万円程度である。他自治体で若い皆様の家計への負担を少しでも手助けしようと10回・9回・5回分を無料にしている。少子化対策として無料健診の拡大に取り組む考えを問う。

家人町長

妊婦健康診査は現在2回、高齢者出産の場合は追加1回の公費負担を行っている。今年1月厚生労働省より妊婦健診の公費負担の望ましいあり方について、最低限必要な健診は5回程度の公費負担を実施することが原則であると示された。十分検討し、その辺のところで早めに実施できるようにしたい。



鈴木ムツヨ議員



出産おめでとう

レジ袋ないない運動と 駐車場に緑化ブロックを

町長／マイバッグ推進の啓発と植樹に力を入れる

レジ袋ないない運動は大垣市の取り組みでレジ袋を断って、スタンプリカードに押印して貰いポイント数に応じて植樹祭で公共の場所に市民が植樹する。平成18年までの2年間で約2トンの二酸化炭素排出を削減し、桜など約600本の苗木を植樹した。

大津町での取り組みの可能性を問う。

一定規模の駐車場を緑化ブロック舗装推進への取り組みを問う。
緑化張りブロックは1㎡に50cm四方のブロックを4枚張り付けるもので四角の中には丸い穴が4つ空いていて、そこに芝を植えるもの。浸透性があり、緑もあり表面温度を15度下げているとも言われている。

家人町長

熊本県ではマイバッグキャンペーンが10月1日より1カ月間実施され、それぞれの立場で具体的な取り組みを展開する。本町でも啓発を行う。

菊池環境保全組合は環境フェアを開催しその中で、マイバッグを推進するために、参加者の皆さんにマイバッグをプレゼントしている。

緑化ブロックは町営住宅（2カ所）で採用しているが、芝の管理、除草、水溜まり等などあまり好ましく思われていないのが現状である。今後は、緑化ブロックではなく植樹に力を入れる。

大津町若草児童学園への 指定管理者制度導入について

町長／福祉法人の方がベター

制度の導入の目的は、公共施設の管理運営に民間の能力を活用し、サービス向上と経費の節減を図るというもの。
①40年間のキャリアは、民間の能力に劣るのか。
②サービスの向上とはどんなことか。
学園の子どもにとって何が変わるのか。
③行政の本来の目的、行政サービスと責任は果たせるのか。

家人町長

①職員等については、定期的な異動があり子どもたちのためには、長い目で育てていく必要がある。
②社会復帰、社会適応ができるようにすることがサービス向上である。
専門職にやっていただいた方がベターである。
③福祉関係等で障害者が



若草児童学園

働けるような地域づくり、企業育成、協力も福祉の一環と考えている。
また、サービスの低下を招かないように、町・県の監査及び指定管理者選定委員会、毎年度終了後に実績検証を行い、サービスの向上に努める。

風呂の残り水、 雨水の有効利用について

町長／補助が出せるか検討する

地球環境の水資源保全を目指している大津町。
①水のロス、無駄を少なくするために風呂の残り水をトイレ・洗濯に有効利用を推し進めている各家庭を支援する考えはないか。
②各家庭に雨水を溜める枡を設置して、庭の散水、洗車、水洗トイレに利用・支援する考えはないか。



チャレンジキャンプ



藤森昭二朗議員

家人町長

いかに水を大切にすることがということにつきまして、何らかの施策的なものを検討していかなくてはならない。溜め枡関係、ポンプ関係等いろんな形の費用関係を補助が出せるかどうか、前向きに検討していきたい。

子ども育てに学校・家庭
・地域での3Kについて

教育長／力強く生きる力が大切

現代の恵まれた時世、

学力低下・不登校・いじめ・がまん・ニート・フリーター・ネットカフェ難民・若い者の自殺等、いろんな社会問題も多い。人間形成には、きつい・きびしい・きたない等、いろんな体験をすることも必要ではなからうか。

壁にあたり、失敗から

学び、壁を乗り越える子ども教育を、学校・家庭・地域でそれぞれの知恵を共有しながら、現代の悩めることを解決しなくてはと思うものである。

宮崎教育長

現代の子ども達を取り巻く社会の現状を危惧している。現代の子ども達には力強く生きる力をつけるのがとても大切である。
地域の拠点である学校は地域住民みんなの学校であり校長先生の学校経営に、家庭・地域社会が参画し大津町の子ども達をみんなで育てていきたい。

所得格差について

町長／住民生活の安定向上のために
に取り組みたい



国の進める改革路線によって、正規社員と非正規社員の所得格差が広がっている。大津町でも若い人の賃金が安くて結婚したくても出来ない。職務が同じでも、賃金格差で悩まされている方も多い。町には多くの企業そして進出して来る企業もあるかと思う。町当局は、企業に正規社員の雇用を進めてもらうように働きかけるべきではないか。

家人町長

町では、平成17年度から企業の立地に対する優遇措置を設け、新規進出企業に対して、一定の条件に合致すれば、施設整備補助金や雇用対策事業として雇用促進補助金を、町内から雇用された場合に、労働者1人当たり年間30万の補助金を交付している。
企業ニーズに応えるためにも人材育成を図って教育に力を入れたい。

議会運営委員会研修

報告

一般質問、一人で3時間以上に及ぶことも

日程 8月16・17日

研修先 宮崎県

小林市、清武町

16日・小林市議会

市の概要

面積 4万7423²km

人口 4万1000人

H18年 須木村と合併

○議案修正の事例

振興総合計画の文言の

修正があった。

○議案審査の形態

新年度一般会計予算は、

全議員による「審査特別

委員会」を設置。

一般会計決算は議長、

監査委員を除いて「決算

審査特別委員会」を設置。

○その他・会派制

○一般質問の形態

質問時間を一人40分以

内。ただし答弁と合わせ

ると3時間にも及ぶこと

があり検討課題となつて

いる。

17日・清武町

面積 4781²km

人口 2万8900人

空港、港、高速イン

ターに近く交通便に恵ま

れ、宮崎大学医学部、宮

崎女子短期大学、宮崎国

際大学などがある学園都

市として発展している。

○議案修正の事例

H16年 一般会計補正

予算の修正動議など。

○一般質問の形態

質問時間一人45分。

小林市同様検討課題。

○その他申し合わせ

所属委員会の委員長報

告への質疑はしない。

活力ある町政が議会と

執行部一体となつて取り

組まれていることを、当

町の町政に活かしたい。

分かりやすい
見やすい
広報に役立てたい

議会広報編集特別委員会

第66回 町村議会広報研修会



広報の研修（シェンバツハ砂防）

8月29・30日、一泊二
日で「第66回全国町村議
会広報研修会」に参加し、
議会広報の編集技術を研
修した。

○会場 東京・シェン
バツハ砂防

○参加者 広報委員5名
と事務局長。全体研修

者480名のうち熊本

県より7町村23名。

読者に分かりやすい文章を

講師 高崎みどり氏

文章を書くとき「誰に

とって分かりやすい」文章

なのか。読む人の立場に

たつて分りやすくなつて

いるか？

読み手のもつ関心・情

報を推し量つて、関心に

見合うように編集する。

文章だけでなく表や写

真、イラストなどを活用

使つて、改善点が指摘さ
れた。
出展広報のページ数は、
最少8ページ、最高30
ページまであり、発行歴
は、最高115号。わが
町の41号より歴史の長い
ものばかりである。
漢字を多用すると、紙
面が余計に字ばつかりに
見えて、読む気がそがれ
るという事例も。

実例を使つて、良い点
改善点の指摘があり、わ
が町の広報の編集に役立
つ点が多くありました。

役立った広報の現物批評

講師 城市 創氏

全国から提出された10

自治体の、広報誌現物を



大津町の宝 からいも



今年のがらいもフェスティバルは
11月11日(日)HSR九州にて



からいも掘り 陣内幼稚園

健康食からいも

ほりだし君

熊本県1位の生産量は290haの畑で7020tもの収穫量を誇り、人生いもいも(焼酎)にも23t使われています。

女性の好きな食べ物ベスト3はイモ、クリ、ナンキン。イモは「からいも」でこの時期、旬の味は焼いたり、煮たり、揚げ物、サラダ、汁物、お菓子等いろいろと形を変えて美味しく食べられます。また、ビタミンCもみかんと匹敵するほど豊富で加熱してもこれくらいに形で含まれています。

一番大事なことは良質の食物繊維を多く含んでいることで、排泄を助け、便秘を防ぐにはうってつけです。ガン、脳卒中、心臓病などの成人病予防に食物繊維が重大な役割を果たしています。健康増進にも大津町の「からいも」を大いに食べましょう。

議会の様子を来て 見て聞いてはいよ

次回は12月中旬予定です。

30度を越す真夏日が10月初旬まで続き、世界中が直面している最大の問題「地球温暖化」を身体で実感しました。熱中症は体育の授業中の中学生や高齢者が罹り亡くなられた方も今年は多かった様です。CO₂削減のためにゴミ減量と植林に本町は力を入

編集後記

議会広報編集
特別委員会

委員長 長俊彦
副委員長 荒木ツヨ
委員 鈴木ムツヨ
委員 坂本典光
委員 月尾純一
委員 新開則明

(鈴木)

れています。焼却場建設の問題もあります。一人ひとりが出来るところから取り組む努力が必要のようです。

“む” 無理が通れば道理がひっこむ
道理にあわないことを無理という。それでは道理とは何のことかという、物ごとのすじみちだと辞書にある。自然のままに生きていくのが人間としてもっともよいことで、それは、宇宙の大道に合致する生き方であるといったのは古代中国の哲人「老子」である。その考えによつてすべての物ごとを律してはじめて、すじみちがはっきりする。老子は「大道」という言葉をつかっているから、道に合致したこと、すなわち道理なのである。ここらが道理という言葉のはじまりではないかと思える。

表紙の解説

樹木名 ムクゲ
科名 アオイ科
属名 フヨウ属

落葉低木で高さ3〜4m位で原産地は中国で別名ハチスとも言う。花期は7〜10月で花色は白・紅・紫などがあり一重と八重の品種がある。一日のうちに花が次々に開花し葉は卵形で浅く3裂し鋸歯である。実は1・5〜2cmの卵形の黄褐色で熟すると5裂して有毛の種子ができる。

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。